

| | |
|-------|---|
| 目 標 | 「飛騨から世界を望み、持続可能な地域社会の発展に貢献する」をキーワードに、ユネスコスクール（「持続可能な開発のための教育（E S D）」を進める拠点校）に認可された本校において、授業、課外活動で実施される地域を学びの舞台にした学習プログラムを通して、地域に参画する力、また主体的に地域（実社会）と接点を持ち、貢献していこうとする態度を身に付けさせ、「課題解決能力と未来の地域を担う志を持った人材」の育成を図る。 |
| 指導の重点 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業、課外活動で学んだ成果を生かしながら地域課題を発見し、その解決を目指して地域に参画していく学びを、担当教員とキャリア教育コーディネーターで支援しながら、生徒が主体的に実社会との接点を持ち、地域での実習を通して学習プログラムを展開する。 ・ プロジェクトの取組みや求める内容が、変化する社会や高大接続改革で求められている内容と合致させ、希望する進路を支援する活動として進路指導との関連を深める。 |

| | | | | | | | |
|--------------|--|-----|---|-----|----------------|-------------|-------|
| 準教科書 使用教材 | 独自教材（ワークシートなど） 「SDG s 国連世界の未来を変えるための 17 の目標 2030 年までのゴール」 高校生のためのリテラシー強化書 学びみらいP A S S アセスメントテスト（河合塾） | 学 年 | 全 | 週時数 | 1 コマ (50 分) | 年間予定 時 数 | 35 コマ |
|--------------|--|-----|---|-----|----------------|-------------|-------|

| 月 | 単 元 | 予定時数 | 学習内容 | 主な学習活動と評価のポイント | 評価方法 |
|----|--------------|------|-----------------------|---|---------------------------------|
| 4 | オリエンテーション | 1 | チームづくり ゴール設定 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域と活動プログラムの目的や目標を共有する。 ・ P R O G - H で、探究活動前の課題解決力と行動特性を可視化する。 ・ 関係団体との「事前学習」により、生徒が地域の思いを知ること、どのように関わるのか、どのような学びが得られるかを確認する。 ・ 夏季休業中に地域での実習活動①を実践する。 ・ 実施後の「振り返り」では、どのような発見や学びがあったのか、改善点は何かなど、活動に対する自己評価を大切にする。 | ポートフォリオ 取組の様子 |
| 5 | 自己分析① | 1 | P R O G - H テスト受験① | | |
| 6 | 情報収集 情報分析 | 4 | 地域での聞き取り 調査と分析 | | |
| 7 | 課題発見 発想表現 | 5 | 地域実習アイデア出し・企画決定 | | |
| 8 | 実践① | 3. 5 | 地域での 実習活動① | | |
| 9 | 振り返り | 3 | 振り返り 後半に向けて | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域と活動プログラムの目的や目標を共有する。 ・ 関係団体との「事前学習」により、生徒が地域の思いを知ること、どのように関わるのか、どのような学びが得られるかを確認する。 ・ 地域での実習活動②を実践する。 ・ 実施後の「振り返り」では、どのような発見や学びがあったのか、改善点は何かなど、活動に対する自己評価を大切にする。 ・ 「Y C K 報告会」で、本校の生徒・職員、地元の中学生や地域の方々、学校関係者や県内外視察等、多数の方々の来場者の前で、1年間の活動を報告する。 ・ P R O G - H で、活動後の課題解決力と行動特性の伸長を把握する。 | ポートフォリオ 取組の様子 P R O G - H |
| 10 | オリエンテーション | 1 | チームづくり ゴール設定 | | |
| 11 | 情報収集 情報分析 | 4 | 地域での聞き取り 調査と分析 | | |
| 12 | 課題発見 発想表現 | 5 | 地域実習アイデア出し・企画決定 | | |
| 1 | 実践② | 3. 5 | 地域での 実習活動② | | |
| 2 | 振り返り | 3 | 振り返り 次年度に向けて | | |
| 3 | 自己分析② | 1 | P R O G - H テスト受験② | | |

| | |
|-------|---|
| 目 標 | 「飛騨から世界を望み、持続可能な地域社会の発展に貢献する」をキーワードに、ユネスコスクール（「持続可能な開発のための教育（E S D）」を進める拠点校）に認可された本校において、生徒を海外に派遣し、他国の自然、生活、文化、福祉、歴史、産業等に接することで、諸外国に対する理解と国際協調の精神を育み、国際感覚に優れた「地域社会人」の育成を図る。 |
| 指導の重点 | 本校のYCK（吉高地域キラメキ）プロジェクトの一環として実施する。現地では新港芸術高校との交流と、新港文教基金会主催の研修計画に沿って実地研修を行う。宿泊は、研修地区周辺の一般家庭に2名ずつホームステイする。 |

| | | | | | | | |
|--------------|---|-----|---|-----|--------------|-------------|-------|
| 準教科書 使用教材 | 独自教材 （台湾新港文教基金会と飛騨市観光協会から提供される教材等） 「SDGs 国連世界の未来を変えるための17の目標 2030年までのゴール」 | 学 年 | 全 | 週時数 | 1コマ (50分) | 年間予定 時 数 | 38 コマ |
|--------------|---|-----|---|-----|--------------|-------------|-------|

| 月 | 単 元 | 予定時数 | 学習内容 | 主な学習活動と評価のポイント | 評価方法 |
|---|-----------|------|----------------------------|--|----------------------|
| 4 | オリエンテーション | 1 | 研修の目的についてゴール設定 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域と活動プログラムの目的や目標を共有する。 ・関係団体との「事前学習」により、生徒が台湾新港文教基金会と飛騨市観光協会それぞれの思いを知ることで、どのように関わるのか、どのような学びが得られるかを確認する。 ・日本文化や歴史、吉城高校や地域について英語で紹介するパンフレットの作成を通して語学力の育成を図る。 ・夏季休業中に実習地域で1週間の活動を実践する。 | ポートフォリオ 取組の様子 |
| 5 | 事前学習① | 1 | 台湾の文化や歴史、実習地域についての学習 | | |
| 6 | 事前学習② | 1 | 日本文化や歴史、地域を英語で紹介する学習 | | |
| 7 | 事前学習③ | 1 | 語学研修 | | |
| 8 | 海外実習 | 30 | 実習地域（台湾）での学習 中5日(6時間/日) | 1 日目：出国（富山空港→台北桃園桃園空港）、バス移動（桃園空港→嘉義県新港郷）、各ホームステイ家庭へ 2 日目：新港奉天宮見学、板頭コーチン貼絵芸術村見学、コーチン焼制作過程見学・彩色上絵を体験 3 日目：自然農場見学、野菜収穫体験と田植え体験、各ホームステイ先での活動及び夕食 4 日目：新港の青年との交流及び街の探訪、新港飴、杏仁老制作体験、新港香藝文化園見学、香道体験、線香制作体験、歡送宴会 5 日目：バス移動（嘉義県新港郷→台北市）、台北研修（中正紀念堂、九分） 6 日目：台北研修（中烈祠、故宮博物院、永康街散策） 7 日目：帰国（台北桃園桃園空港→富山空港）、飛騨市長報告 | |
| 9 | 事後学習 | 4 | 振り返り レポート作成 プレゼン報告実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・実施後の「振り返り」では、どのような発見や学びがあったのか、改善点は何かなど、活動に対する自己評価を大切にする。 | |

